

## 臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	当院における多孔質ガラスを使用したエマルジョンコネクタ (micro magic)の初期使用経験
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	遠藤伸也
研究期間	2020年2月～2020年7月
対象者	2018年1月から2019年12月までの期間に、当院で肝細胞癌に対して治療歴に関わらず、抗がん剤と造影剤を混ぜてTACE(肝動脈化学塞栓療法)を行った方を対象としています。
当該研究の意義・目的	肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法において、抗がん剤と造影剤の乳剤をカテーテルに注入する際、従来は三方活栓を用いた方法で行ってきましたが、2019年6月より当院では多孔質ガラスを使用したエマルジョンコネクタ(micro magic)を使用しています。治療効果を従来の方法と比較します。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録(カルテ)から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・背景因子(年齢、性別、肝機能など)</li><li>・臨床データ 肝癌治療直接効果判定基準(2019)による標的結節治療効果度と腫瘍壊死効果</li><li>・CTCAE v5.0による有害事象</li><li>・ALBI scoreを用いた術前と術後1ヶ月の肝予備能の変化</li></ul>
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。  静岡県立総合病院 遠藤伸也 代表 054-247-6111